



Hino Advancement Center Newsletter

日野振興センターだより

令和6年9月発行 no.44



MENU

- 全国から、よう来てごしなつたなあ、日野郡へ!
ねんりんピックはばたけ鳥取2024
- 土砂災害防止の取組
- 皆伐再造林のすすめ～新たな苗木供給の取組～
- 畦畔ネットによる草刈り作業軽減の取組
- 日野郡で輝く人 にちなんダンススクールのチーム「EIZ(エルツ)」(日南町)
- 白ねぎ出荷調整作業優良事例集が完成しました



ねんりんピック はばたけ鳥取2024

咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花

令和6年10月19日(土)~22日(火)

10月19日から4日間、県内全域を会場にねんりんピックはばたけ鳥取2024が開催されます。
今号では各町の町長からの選手団歓迎メッセージとおもてなしをご紹介します。
日野郡でも訪れた人に楽しい思い出とともに帰っていただけるよう、それぞれ工夫を凝らしています。
でも、一番のおもてなしは皆さんの笑顔とお声かけ。

「よう来てごしなっとなあ(*´▽`*)」

あたたかい鳥取弁での“その一言”が、たとえすぐに通じなくても、
選手や応援団の皆さんをきっとハッピーにしてくれます。
おとなしくて恥ずかしがりだと言われる(!?)われわれ鳥取県民ですが、
ここはひとつ積極的に来県者の歓迎にご協力をお願いします!!

日野町
(ソフトテニス)



日野町 埴田淳一町長からのメッセージ

日野町はソフトテニス交流大会を開催いたします。わが町にとってソフトテニスは、今日まで有名な選手を何人も輩出する大変歴史のあるスポーツです。選手の皆様が日頃の練習の成果を発揮し、大会を楽しみ思い出に残りますよう、“ソフトテニスのまち日野町”として素晴らしい大会となるよう地域を挙げて歓迎いたします。

日野町のおもてなし♪

会場の「ふるまいコーナー」で郷土料理「じゃぶ汁」や水、スポーツドリンクなどを無料で提供するほか、日野町特産品などを販売する予定です。

大会期間中に町内の名所を回っていただくのは難しいかもしれませんが、大会が終わるとオシドリが飛来する季節になります。次は観光目的で来町していただきたいですね。

また、「ねんりんピックはばたけ鳥取2024 ぶよぶよeスポーツ対抗戦 IN鳥取日野町」と銘打ち、プロ選手の解説でお楽しみいただけるトーナメント戦も日野高校で行います。従来のスポーツだけでなく、eスポーツもこれからの健康づくりに生かしていくきっかけになればいいですね!



江府町
(バウンドテニス)



江府町 白石祐治町長からのメッセージ

日本発祥の競技「バウンドテニス」。狭い場所でも手軽にできる生涯スポーツとして楽しまれています。今回のねんりんピックでは、江府町が会場を担当します。西日本一のブナ林を有する江府町は、清らかで美味しい水が豊富にあります。競技後の喉の渇きをこの水で潤されると、江府町の水のとりこになれることでしょう。

江府町のおもてなし♪

小学生たちの作る応援のぼり旗で選手のみなさんが町にお越しになった瞬間から歓迎します!

会場ではみそ汁や町の特産品である、おいしい奥大山の水をふるまい、各種の飲み物とドーナツなどの軽食の販売分もご用意します。

参加者のみなさん全員に「水のまち」江府町の特産品である「サントリーの天然水」もお持ち帰りいただけますが、成績上位者にはさらに豪華な特産品を贈る予定です。

その他、販売のみならず、宅配コーナーもありますので、町の特産品をどうぞたくさん手に入れてお帰りくださいね。

コミュニティバスで「道の駅奥大山」への送迎も予定しているので大会の前後、こちらでのお土産物探し、お食事もぜひごゆっくりお楽しみください。



日南町
(民謡)



日南町 中村英明町長からのメッセージ

日南町は「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」民謡大会の会場となります。全国からお越しいただく選手の皆さんが日頃の練習の成果を十分に発揮し、選手・県民の皆さん・関係者の心に残る大会になるよう町も一体となり精一杯盛り上げるとともに、日南町が持続可能な町であり続けるための足掛かりとなる、実りある大会となることを祈念します。

日南町のおもてなし♪

評価の高い日南町産米の**新米を使ったおにぎり**をふるまうほか、通算40回以上開催されてきた人気イベント「食のバザール」を同時開催! 日南町内のグループ等が作る餅や蕎麦、野菜など様々な「食」が一堂に会し、町内外からもたくさんの方が来場されます。

また、開始式アトラクションは日南町ではすっかりおなじみの「日野川源流太鼓」の演奏や湯梨浜町の「宇野三つ星盆踊り保存会」の出演、一般財団法人全大阪みんよう協会理事・進藤聖子先生による民謡を楽しんでいただけます。

選手団ID優待として**日南町美術館に無料で入館**いただけるほか、町内の観光スポットを巡るミニツアーも計画中!

多くの皆さまのお越しを心よりお待ちしております。



全国から、よう来てごしなっとなあ、日野郡へ!!



防災クイズによる災害への意識醸成(令和2年江府町)

要配慮者施設への面談(令和5年日野町)

土石流の模型実験(令和2年江府町)

出前説明会(令和2年日南町)

取組
ソフト

防災教育

日野県土整備局では、地域の皆様への防災学習のお手伝いはもとより、小学校、中学校にもお伺いして、土砂災害防止に関する啓発活動を行っています。防災・減災への意識を高めるためには日頃の備えや、もしもの時に「行動」できる正しい知識を小さいころから身に付けていくことが重要です。広く自治会や学校等の皆様に防災教育や出前説明会を行っていますのでお気軽にご相談下さい。

取組
ハード

施設整備



シヨウブ谷川砂防堰堤(江府町洲河崎)



土石流発生前(令和4年度)



土石流発生後(令和5年度)

施設効果事例

北谷川(鳥取市佐治町尾際)

令和5年度、県東部で発生した豪雨災害では、整備した砂防堰堤が大量の土砂と流木を止め、下流の人家等の被害を防止しました。

現在、日野管内では、28箇所の土砂災害防止施設の整備や整備に向けた計画の策定を行っています。このうち、平成26年から進めてきた土石流危険溪流「シヨウブ谷川」の砂防堰堤工事が7月に完了しました。

土砂災害防止の取組

県では、土砂災害防止の取組として、要対策箇所の施設整備、いわゆるハード対策に取り組んでいます。施設整備には莫大な予算と膨大な時間を要するため、防災教育や防災・減災情報の発信など「命を守るための避難行動」につながるソフト対策も推進しており、ハード対策、ソフト対策の双方において土砂災害防止に取り組んでいます。

土砂災害防止施設の調査計画

地域の皆様の生命や財産を守るため、土石流地すべり・がけ崩れ対策などの土砂災害防止施設の整備を着実に進めることとし、日野郡3町と連携をとって、実際に現地を歩いて確認し、危険度や緊急性の高い箇所から重点的・計画的に対策を実施しています。豪雨や台風によって土砂災害に遭われた際には、まずはお住まいの町の役場にご相談下さるようお願いいたします。



防災・避難 お役立ち情報 どの警戒レベルが出たら、どう行動すればいいか

警戒レベル4までに必ず避難!



気象庁
Japan Meteorological Agency
「キキクル」

大雨や洪水による危険度の高まりを視覚的に確認



鳥取県
Tottori Prefecture
「鳥取県土砂災害警戒情報システム」

お住いの地域の詳細な土砂災害危険度を確認



「ARみえるでござる」

カメラ機能を活用して土砂災害警戒区域を確認



日野県土整備局 河川砂防課 電話：0859-72-2065 FAX：0859-72-0400
計画調査課 電話：0859-72-2058 FAX：0859-72-1398

②倉吉閉鎖型採種園

令和4年10月に日本製紙株式会社により、スギ・ヒノキの特定母樹の「倉吉閉鎖型採種園」が倉吉市に整備されました。令和6年秋から苗木出荷を開始し、将来的には年間約50万本の苗木生産が計画されています。



倉吉閉鎖型採種園の内部(スギ母樹)

③日南町カラマツ特定母樹採種園

令和5年10月に日南町森林組合により、日南町阿毘縁に「日南町カラマツ特定母樹採種園」が整備され、約0.5ヘクタールに270本のカラマツの特定母樹が植栽されました。

今後数年かけて採種園を拡大し、1070本の母樹を育て、令和16年度から種子を配布する計画となっています。



日南町カラマツ特定母樹採種園(令和5年植栽の母樹)

森林所有者の皆様へ

このような新しい技術に基づいた取組が進められていますので、どうぞ皆伐再造林をご検討ください。

岡日野振興局 農林業振興課 電話：0859-72-2017 FAX：0859-72-2125

畦畔ネットによる草刈り作業軽減の取組 ～ 日野郡内各地域で広がる ～

水田畦畔の草刈り作業は、カメムシなどの病害虫の発生予防、稲の生育促進などのために、年間3～6回繰り返し行われています。日野郡の畦畔は、幅広な急斜面が多く、旧来からの刈り払い機を中心に、モアなどの作業機械や除草剤などのいろいろな手法を組み合わせで除草されていますが、夏場の暑さも加わって、重労働で危険を伴う作業となっています。この作業の軽労化や省力化を進める新たな手法として、畦畔全体をネットでおおう「畦畔ネットの取組」が、日野町檜原、高尾、黒坂、榎市、久住などで広がっています。

設置後は、草刈りが不要となり、ネット下では草が生え根を張るので畦畔を崩さず、導入や設置作業には、中山間地域直接支払いや多面的機能支払いの交付金の活用ができます。

設置した集落の方々から「年を取るにつれ斜面での踏ん張りが利かなくなっており、この急斜面や水路際の草刈り作業がなくなるとホッとした」「設置作業は、重労働でもなく、指導を受けながら、みんなでやっていける」と安堵と今後の設置に向けての意気込みの声が聞かれました。



設置作業の様子(日野町黒坂、6月2日)



設置前(日野町檜原、2月9日)



設置後(同、3月7日)

岡日野振興局 日野農業改良普及所 電話：0859-72-2027 FAX:0859-72-2090



皆伐再造林のすすめ

～新たな苗木供給の取組～

現在、鳥取県内のスギ・ヒノキなどの人工林の半数以上が収穫可能な林齢となっています。高齢の森林を伐採し、植林により、二酸化炭素の吸収が盛んな森林に若返りを図る皆伐再造林の取組を推進することがSDGsの観点からも今、求められています。

県では、令和3年に策定した「とっとり森林・林業振興ビジョン」の中で、令和12年度の森林や林業の目標を定めました。皆伐再造林面積については、令和元年度に24ヘクタールだったところを、令和12年度に320ヘクタールに増やすことを目標としています。達成に向けては、苗木を安定的に供給する体制を整え、伐採後にきちんと植林できることが必要です。

ここでは、本県の新たな苗木供給の取組についてご紹介します。

コンテナ苗の取組

①コンテナ苗とは?

コンテナ苗とは、コンテナ容器の中で栽培された苗のことで、軽量で植栽作業がしやすく、根鉢があるため乾燥に強く、幅広い期間で植栽が可能です。



日南町樹木育苗センターの外観



令和4年秋植栽のカラマツ造林地
(令和6年7月撮影 日南町福万来)

②コンテナ苗の生産

令和3年12月に株式会社ウッドカンパニーニチナンにより「日南町樹木育苗センター」が日南町阿毘縁に建設され、カラマツなどのコンテナ苗を年間約15万本生産しています。

同センターでは、住友林業株式会社の技術支援を受け、種子選別機、発芽室、自動かん水装置を導入し、効率的に約1年で苗木を生産しています。

エリートツリーと特定母樹の取組

①エリートツリーと特定母樹とは?

エリートツリーとは、各地域の人工造林地から成長が優れた木として選別された「精英樹」のうち、優良なもの同士を人工交配によりかけ合わせ、その中からさらに優れた個体を選んだものです。

特定母樹とは、エリートツリー同士を人工交配し、下記の基準を満たす農林水産大臣の認定を受けた種子採取用の樹木のことです。

特定母樹の基準

- ・成長量が従来品種の1.5倍以上
- ・材の剛性が良く、幹がまっすぐ
- ・花粉量が従来品種の半分以下

将来、特定母樹の種子から育った苗木が普及することにより、下刈り期間の短縮や二酸化炭素吸収量の増大などが期待されます。



植栽4年後のスギ(※)
左:エリートツリー 右:従来の品種

※出所:国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター

日南町のダンスチーム『Erz(エルツ)』は、日野学園7年生の世垣力(せがき りき)さん、日南小学校6年の青木朱凜(あおき しゅりん)さんの2人組で、ともに「にちなんダンススクール」に通って5年以上になります。年上の子の影響で始めたところ、難しかったけれどすごく楽しかった!とのこと。

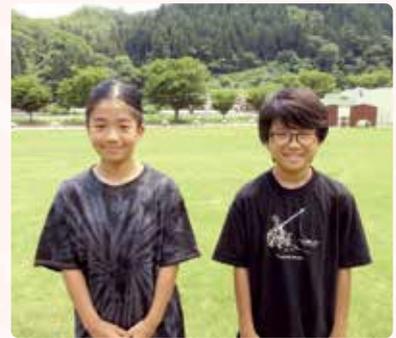
Erzは、ダンスインストラクターの坪倉万葉(つぼくら まよ)先生からコンテストに出てみないか、と声をかけられて昨年10月に結成されたばかり。二人で組んで大会出場を薦められた時は驚きつつも、貴重な経験ができる!とうれしかったという朱凜さんとすんなり受け入れたという力さん。



坪倉先生によると、二人はダンスが合っているだけでなく、指導内容を理解し、自分で振り返って問題点を見つけ出せるセンスのよさも備えているそうです。

取材では、「日野郡のみなさん、ぜひ応援してください!」(力さん)、「優勝をめざします!」(朱凜さん)と全国大会への意気込みを語ってくれました。

実は、坪倉先生は元プロダンサーでしたが、夫のUターンに同行する形で日南町に移住してきた方。縁あってダンス指導を始められ、二人と出会い、今や全国大会に出場するレベルに…。ダンス技術だけを身につけるレッススタジオとは違う距離感が「にちなんダンススクール」にはあるそうです。今、全国大会に向け特別レッスンを受けている二人は、ドイツ語で「原石」という意味のチーム名どおり、厳しい指導にもしっかりついてきて、どんどん磨かれていっている最中です!



▲(左:青木朱凜さん 右:世垣力さん)

☎日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2084 FAX:0859-72-2072

鳥取県西部地域

白ねぎ出荷調製作業優良事例集が完成しました

日野郡を含めて鳥取県西部地域は全国有数の白ねぎの産地です。

白ねぎの各種作業の中で、収穫後の皮はぎから箱詰めまでの「出荷調製作業」が、全体作業時間の約7割を占めていることから、この省力化や効率化が、経営の維持や拡大を進めるための重要なポイントとなっています。

このほど「A鳥取西部、鳥取県白ねぎ改良協会及び西部地区の3つの農業改良普及所(西部・大山・日野)が協力し作成した「出荷調製作業優良事例集」が完成しました。

作業効率が優れている7事例(生産者・法人)について、作業場のレイアウト(動線)、能率を上げる工夫、身体への負担軽減対策ごとにまとめて、写真やイラストとともに掲載しています。

これらの内容は、白ねぎ栽培農家はもちろんのこと、栽培品目が違う農家にとっても作業改善のヒントになるものと考えています。

日野地域からは、各作業の随所に省力化や円滑化の工夫を凝らしている坪倉裕樹さん(日南町)の事例を紹介しました。

坪倉さんが最も力を入れているのは、初めての人でも作業が出来るように、各作業場所ごとに工程や内容を文字やイラストなどで掲示し、作業の標準化と円滑化に努めているところです。

これら優良事例の詳細については、農業改良普及所のホームページにも掲載していますので、参考としてください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/104655.htm> →



優良事例集

☎日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2027 FAX:0859-72-2090

表紙
写真

【タイトル】地域の絆 福栄のかしらうち 【撮影者】日野町 松本 利秋

【撮影者コメント】日南町福栄に伝わる「かしらうち」は、福栄神社の秋祭りで行われる、「かしら」と呼ばれる大きな太鼓を打って、その年の五穀豊穡を感謝し、神様に喜びを奉納する伝統行事(県指定無形民俗文化財)。数年前から、結婚や出産のあった地域の家を訪問して、かしらうちを披露し、お祝いする新たな取組も始まっています。昨年は、子どもと大人28人が参加し、地域住民の結びつきを深めました。※「かしらうち」の呼び名の由来には諸説あります。